製品安全データシート

工業用潤滑剤

製造者情報

	会　　社	大新化工株式会社
	住　　所	東京都港区芝大門２丁目５番８号
	担当部署	営業本部　営業管理
	電話番号	03-3432-0671　Fax 03-3432-0675
	緊急連絡先	03-3432-0671　受付　土、日曜、祝祭日以外
整理番号　D - 81079	作成・改定	２００８年　１月１０日

製品名（化学名・商品名）	ＤＡＩＫＡＬＵＢ　５２８Ｄ
主用途	ディスクブレーキ鳴き防止剤

危険有害性の要約

分類の種類　　ＧＨＳ

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入・気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入・蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入・粉じん）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原生	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性	
	（単回ばく露）	分類できない
	（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵文字またはシンボル	該当しない
注意喚起語	該当しない

物質の特定	単一製品・混合物の区分	混合物	
	化学名	合成油及び添加剤	
	成分及び含有量	潤滑油基油	シリコン系 60%
		増ちょう剤	シリカ系 9%
		添加剤	天然鱗状黒鉛 31%
	化学式又は構造式	特定できない	
	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	企業秘密なので記載できない	
	CAS No. 及びTSCA No.		CAS No. TSCA No.
		潤滑油基油	8050-81-5
		増ちょう剤	63231-67-4
		黒鉛	7782-42-5
	国連分類番号及び国連番号	該当しない	

労働安全衛生法	該当しない
PRTR法	該当しない

危険有害性の分類

分類の名称	GHS
危険性	該当しない
有害性	現在のところ有用な情報なし
環境影響	現在のところ有用な情報なし

応急処置

目に入った場合	清浄な水で十分洗い、もし刺激が残っていれば医師の診断を受ける。（第17項「引用文献」①参照）
皮膚に付着した場合	水と石けんで十分に洗浄し、皮膚調整用クリームを塗布する。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移る。体を毛布等で蔽い、保温して安静を保ち必要なら医師の診断を受ける。呼吸が止まった場合及び呼吸が弱い場合は、衣服を緩め、呼吸気道を確保した上で、人工呼吸を行う。
飲み込んだ場合	無理に吐き出さずに、速やかに医師の診断を受ける。口の中が汚染されている場合には水で十分に洗うこと（吐き出すと気管に入り易く、肺に入ると高熱が出て非常に治りにくい出血性肺炎を起す事がる）（第17項「引用文献」②参照）

火災時の処置

消火方法	①火元への燃焼源を断つ ②初期の火災には粉末、炭酸ガスを用いる ③大規模火災の際は、泡消化剤を用いて空気を遮断する事が有効である 注水は火災を拡大し危険な場合がある ④周囲の設備などは散水して冷却する ⑤消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する ⑥火災発生場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する
消化剤	霧状の強化液・泡・炭酸ガス・粉末が有効である。消火に棒状の水を用いてはならない。

漏出時の処置

① 全ての着火源を速やかに取り除き、漏洩個所の漏れを止める
② 漏洩したグリースは出来るだけ空容器に回収し、回収しきれない付着物はウエス等でふき取る。

取扱及び保管上の注意

取り扱い
①飲み込まないこと
②子供の手の届かない所に置くこと
③皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は、保護具を着用すること。
④蒸気やミストを吸入する可能性がある場合は、呼吸器具等の保護具を着用すること。
⑤容器を転倒させたり、衝撃を与えるなどの粗暴な取り扱いはしないこと。
⑥ミストや高温による蒸気、ガスが発生するときは、換気装置を設置する。
⑦容器は必ず密閉すること。を与えるなどの粗暴な取り扱いはしないこと。

保　管
①直射日光を避け、暗所で換気の良い場所に保管すること。
②指定数量以上の量を取扱う場合は、法で定められた基準に満足する製造所・貯蔵所・取扱所に保管する。

暴露防止措置

管理濃度　規定なし（作業環境評価基準：労働省告示第２６号　㊗7.3.27）

許容濃度
①日本産業衛生学会（1997年度版）
区分外
②ＡＣＧＩＨ（1997年度版）時間荷重平均（ＴＷＡ））
区分外

設備対策　ミスト及び蒸気が発生する場合は、発生源の密閉化または防爆タイプの換気装置を設ける。取扱場所の近辺に洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具
①呼吸保護具：ミスト、蒸気が発生する場合は、防護マスク（有機ガス用）を使用する。
②保護眼鏡：ミスト、蒸気が発生する場合は、保護眼鏡を使用する。
③保護手袋：長期間または繰り返し接触する場合には耐油性のものを使用する。
④保　護　衣：長時間にわたり取り扱う場合又は油で汚れる場合は、耐油性の長袖作業服等を着用する。油で汚れた衣類は完全に清浄にして使用する。

物理／科学的性質

外　観	黒色バター状
臭　い	微かな臭い
ｐＨ	データなし
融点及び凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	１５０～６００℃（高度精製油として）
引　火　点　℃	３００（基油として）
燃焼又は爆発範囲の上下及び下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
密度（15℃）　g/cm^3	１．１９
溶解度	データなし
ｎ－オクタノール／水分配係数	logPow＝３.９－６（高度精製油として）
自然発火温度	２６０～３７１（高度精製油として）
分解温度	データなし
流　動　点　℃	
滴　点　℃	２６０

危険性情報	該当しない
有害性情報	該当しない
環境影響情報	現在までのところ有用な情報なし

廃棄上の注意

残余廃棄物	①廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害のレベルを低い状態にする。 ②廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 ③都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託して処理する。 ④廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理委託する。
汚染容器及び包装	①容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 ②空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。廃棄上の注意

輸送輸送上の注意

国際規則	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	①輸送に際しては、直接日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 ②重量物を上積みしない。

適用法令	適用外

引用文献

①ANSI Z129. 1-1994 for Hazardous Industrial Chemicals - Precautionary Labeling
②新・絵で見る中毒１１０番（保健同人社）
③許容濃度等の勧告（1997）日本産業衛生学会　産業衛生学雑誌　３９巻４号
④Threshold Limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH（1997）
⑤IARC Monographs on the evaluation of the carcinogenic risk of chemicals To humans Volume 33
⑥ＥＣ理事会指令「67／548／EEC」付属書Ⅰ「危険な物質リスト」
⑦製品安全データシートの作成指針（日本化学工業協会）

お願い　製品安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者はこれを参考にして、自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた、適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で使用されるようお願いします。従って本データシートそのものは安全の保証書ではありません。

[会社情報]

販売者：青森スズキ自動車販売(株)
所在地：青森市新城平岡397-20
TEL:017-781-3311